



DESCENTE



株主の皆様へ

第59期 中間株主通信

2015年 4月1日 ~ 9月30日

株式会社デサント

証券コード：8114

<http://www.descente.co.jp/>

「Compass2015」の最終年を実り多い年とし、さらなる

2016年3月期第2四半期は、商品開発力の強化や、直営店など自主管理売り場の拡大による国内事業の再構築、ロンドンへの直営店出店やイギリス「イノヴェイト」グループの子会社化など欧州への事業拡大を進めることができました。また、引き続き好調な韓国の牽引などもあり、売上高、各利益項目とも過去最高値を更新しました。今後もさらなる飛躍に向け、ブランド価値向上に引き続き取り組んでまいります。

▶ 初めに、当第2四半期の業績をお聞かせください

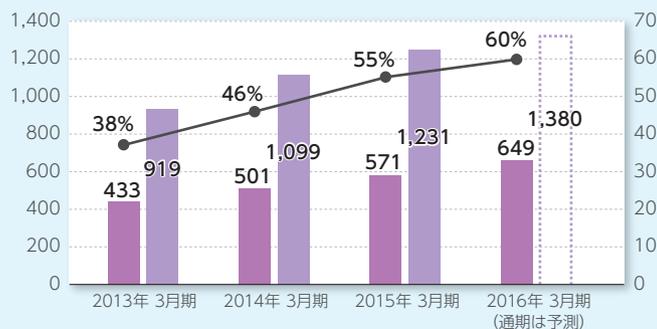
2016年3月期第2四半期の業績は、前期に続き好調なアジア各国での事業展開が全体の業績を牽引し、売上高64,940百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益5,083百万円（同38.5%増）、経常利益5,261百万円（同34.5%増）、四半期純利益3,721百万円（同34.1%増）の増収増益となりました。国内においては『デザート』や『ルコックスポルティフ』、『マーモット』が順調に推移し、その他のブランドも概ね堅調に推移しています。韓国ではトレーニングシューズを中心に『デザート』のアスレチックカテゴリーが大きく売上を伸ばし、さらに2015年春夏シーズンよりスタートしたゴルフカテゴリーも好調に推移。また中国、香港他のアジア主要国でも堅調に売上を拡大し、海外売上高比率は60%を超える結果となりました。



代表取締役社長

石本雅敏

◆ 売上高推移および海外売上高比率（単位：億円／％）



■ 第2四半期連結累計期間 (左軸) ■ 通期 (左軸)
● 海外売上高比率 [半期] (右軸)

注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

飛躍へつなげます。

▶ 中期経営計画「Compass2015」の最終年となりますが、手ごたえはいかがでしょうか？

当期を最終年度とする中期3カ年計画「Compass2015」は、数値面での目標である売上高1,200億円、営業利益80億円、当期純利益50億円を2015年3月期に既に達成しております。しかし、定性面での課題は残っており、2016年3月期の事業方針を「グローバル化の更なる推進」と「国内事業の再構築」と据え、定性面の課題をクリアしていくため精力的に取り組んでいます。

▶ グローバル化の更なる推進および国内事業の再構築について進捗をお聞かせください

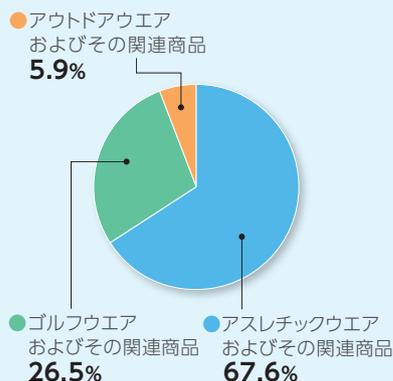
まず、グローバル化の更なる推進に向け、展開する各ブランドにおいてグローバルでの価値の向上を図りました。当社がアジア地域の商標を保有する『アリーナ』ブランドで、それ以外の地域の商標を保有するイタリアのアリーナ社(Arena Distribution S.A.)

との連携強化を進めています。両社が共同でオフィシャルパートナーを務めるFINA(国際水泳連盟)との契約の一環で「第16回世界水泳選手権大会」(世界水泳2015)に協賛し、大会運営の

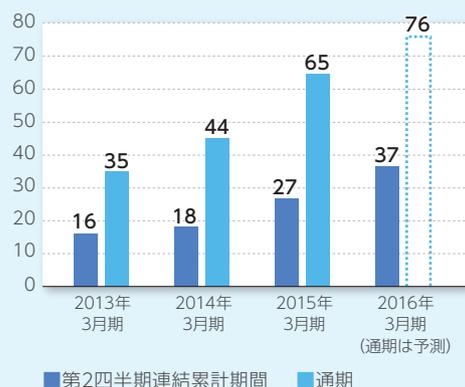


サポートや役員、スタッフに対してのウェアのサプライを行いました。世界トップレベルの選手が出場する大会でのアクティビティを通じて、スイムウェアブランドとしての、グローバルで統一したブランドイメージの創出と高揚が図れたと感じています。また、同大会では今年からアドバイザー契約を結んだ瀬戸大也選手(JSS毛呂山/早稲田大学)が400m個人メドレーで優勝し、日本人として初めて連覇を成し遂げたことも嬉しいニュースでした。

◆ 品目別売上高構成比 (単位：%) (当第2四半期連結累計期間)



◆ 四半期(当期)純利益 (単位：億円)



◆ 通期連結業績予想

	2016年 3月期 修正計画	2016年 3月期 当初計画	2015年 3月期
売上高(億円)	1,380	1,380	1,231
営業利益(億円)	105	100	91
経常利益(億円)	110	105	95
当期純利益(億円)	76	73	65
1株当たり 当期純利益(円)	100.88	96.89	87.12

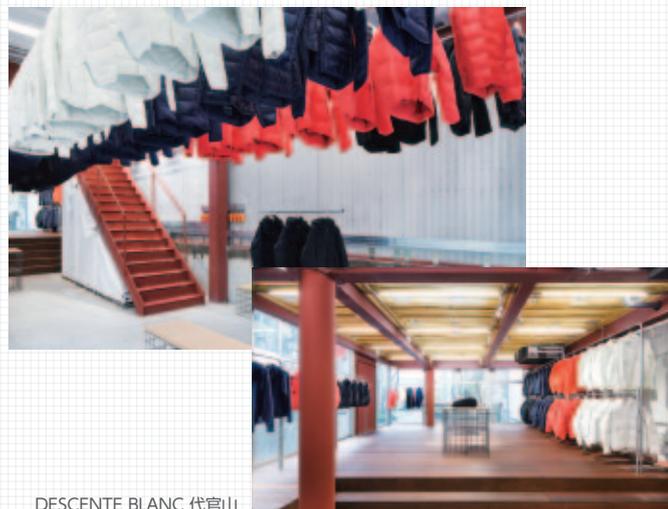
また、『デサント』ブランドでは、11月にイギリス・ロンドンにブランド初のグローバルフラッグシップショップ「デサント ショップ ロンドン カーナビー ストリート」をオープンし、20代-30代の若者をターゲットに、パフォーマンスウエア



デサントショップ ロンドン カーナビー ストリート

からライフスタイルウエアまで幅広い商品を展開いたします。これに続き、2016年にはヨーロッパの他の都市においても新店舗をオープンさせる予定です。また、2015年春夏シーズンより日本と韓国でスタートした『デサント』ブランドのゴルフカテゴリ「デサントゴルフ」も堅調に推移しています。

次に、国内事業の再構築についてですが、当社の競争力の源泉である商品開発力、“モノを創る力”を高めるとともに、それをお客様に直接プレゼンテーションし、ブランドの世界観を伝えられる売場の拡大を推進しました。『デサント』ブランドでは、国内直営新業態となる「DESCENTE BLANC(デサント ブラン)」を9月に代官山と福岡にオープン。11月には大阪にも出店いたします。『デサント』の持つ技術を集結したスポーツウエアカテゴリーで



DESCENTE BLANC 代官山



DESCENTE BLANC 福岡



ある「デサント オルテライン」を核に、新たに日常シーンで着用していただける店舗限定のオリジナル商品カテゴリー「デサントポーズ」をはじめ、シューズや小物、さらにはランニングに関連する書籍なども展開し、スポーツブランドが考える心地よいライフスタイルを提案。『デサント』の新たな魅力を発信していきます。また、『アリーナ』においても、10月に関西初出店となる「アリーナショップ 大阪」をグランフロント大阪にオープンさせました。入江陵介選手(イトマン東進)を招いたイベントを実施するなど、トップスイマーに対する訴求はもちろん、マスターズスイマーやエンジョイ・リラックスのためのフィットネススイマーまで幅広いスイマーをサポートする店舗を目指します。

こうした直営店の出店だけでなく、お得意先の店舗内でのコーナー展開など、ブランドの世界感を発信する自主管理売場の拡充を進め、“売り場を創る力”を高めてまいります。

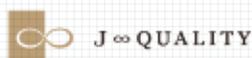
尚、当社は、一般社団法人日本ファッション産業協議会(JFIC)が行うJ∞QUALITY商品認証事業において、企画・販売工程の



アリーナショップ 大阪

企業認証を今年6月に取得。続いて『マンシングウェア』の「ワンシング バイ マンシングウェア」シリーズのポロシャツが、商品認証を取得しました。これは同商品認証事業のスポーツ

ウェア区分において取得第一号となり、当社にとっても初めての商品認証取得となります。認証ラベルが付くことにより、消費者に純正の国産商品であることや、当社のトレーサビリティの確保を通じた安全・安心に対する配慮を正しく認識していただくことができるようになります。国産商品に対する評価は海外においてもますます高まっています。今回のJ∞QUALITY認証を国内のみならず海外でも活用していきたいと考えています。



T1500052 Approved by J∞Q Promotion office.

J∞QUALITY 商品認証を取得した
『マンシングウェア』のポロシャツ

▶ 通期の見通しについてお聞かせください

韓国を中心としたアジア市場が堅調に推移したことや売上総利益率の向上、また為替相場の円安進行を鑑み、通期連結業績予想を上方修正し、売上高1,380億円、営業利益105億円、当期純利益76億円達成を目指します。また、当期は中期3ヵ年計画「Compass2015」の最終年度でもあり、次の新しい中期3ヵ年計画策定の年でもあります。この3年での成果と課題を整理し、引き続き、グローバル事業の拡大と国内収益力の強化を柱に取り組んでまいります。

▶ イノヴェイトの子会社化についてお聞かせください

今年8月に、欧米をはじめ世界約60カ国で『イノヴェイト (inov-8)』ブランドのトレイルランニング用オフロードシューズなどを展開するイノヴェイトグループを子会社化いたしました。詳細は次ページの「特集」で紹介させていただきますが、この投資はグローバル事業の拡大とともに、当社の課題であった



子会社化したイノヴェイト
主力商品はトレイルランニング用の
オフロードシューズ



シューズビジネスの強化につながります。今後も強みを伸ばし、弱みを補填するための投資は積極的に検討していきたいと考えています。

▶ 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いします

当社は今年、おかげさまで創業80周年を迎えました。また、当社が1964年から展開している『マンシングウェア』ブランドは、1955年にアメリカで世界初のゴルフウェアブランドとして生まれてから、生誕60周年を、さらに日本オリジナルで企画・展開を始めた『ルコックスポルティフ』のゴルフカテゴリーも、20周年を迎えました。



『マンシングウェア』
60周年記念ロゴ



『ルコックスポルティフ』の
ゴルフカテゴリー展開
20周年を記念したポロシャツ

株主の皆様のご支援もあり、このように長い間ブランドを存続することができました。今後も皆様に末永く愛されるブランドを育てていきたいと思っておりますので、株主の皆様のさらなるご指導・ご声援をよろしくお願いいたします。



inov-8®

『イノヴェイト(inov-8)』ブランドは、2003年にイギリスで誕生し、欧州におけるトレイルランニング用シューズの展開からスタート。アスリート目線の独創的で本格的な機能が特徴で、現在では世界約60ヵ国でトレイルランニング用シューズおよびパフォーマンストレーニング用シューズを展開しています。

▶ 今年8月「イノヴェイト」を子会社化

当社は2015年8月に、『イノヴェイト』ブランドなどを展開するイギリス「イノヴェイト」グループの株式80%を取得、子会社化しました。デサントグループでは既に、2013年より『イノヴェイト』を日本・韓国・香港で販売しており、今回の子会社化は、イノヴェイトグループが持つ高い開発力を活用した当社グループのシューズ事業全体の拡大と、両社の強みを活かしたさらなるグローバル事業拡大を目的としたものです。

▶ 「ものづくり」へのこだわりが高い親和性

『イノヴェイト』のシューズは、裸足での走行に近い「ナチュラルランニング」をコンセプトに、シューズの持つクッション性やサポート機能を極力ミニマイズし、軽量化を図ることを目標に開発がスタートしました。近年では、岩場や林道などオフロードの

ランニングで要求されるグリップ力やフィット感も評価され、ISPO（世界最大のスポーツ用品見本市）アワードをはじめとする数々の賞の受賞や専門誌での高い評価など、既にアメリカやヨーロッパではオフロードランニングシューズブランドとして確固たるポジションを確立しています。

ランナー目線の独創的で本格的な商品の開発を続ける『イノヴェイト』と、創業以来「モノ創り」を大切にしてきた当社は、アスリートのパフォーマンスを最大限に引き出し、革新的な商品を提供するという共通のフィロソフィーを持っています。

▶ 国内で盛り上がりを見せるトレイルランニング市場

未舗装の山間部を走るトレイルランニングは、マラソンや登山ブームの後押しもあり、日本でも競技人口が増加。現在トレイルランニング参加者は約20万人、潜在的な人口は70万人と推計されています（日本能率協会総研/2014年データ）。国内の代表



2015年 第5回白馬国際トレイルラン
スタート時の様子(当社は特別協賛)

的なレースであり富士山を一周する「ウルトラトレイル・マウントフジ」(UTMF)がトレイルランニングの国際競技「ウルトラトレイルレース・ワールドツアー」にも選ばれたこともあり、海外からの参加者も増えるなどさらに盛り上がりを見せて

います。9月に開催されたこのUTMFの2015年度大会では、「チーム・イノヴェイト」のゲディミナス・グリニアス選手(リトアニア)が見事優勝を飾りました。国内においてもUTMFの他にも多くのトレイルランの大会が開催されるなど、人気は定着しつつあり、今後の需要はますます高まることと期待しています。



ゲディミナス・グリニアス選手が着用した「X-TALON 200」(3mmドロップ)。「地面をつかみとる感覚」と称されるグリップ力の良さと軽さで悪路での走行には定評があり、多くのトップランナーに愛されています。

ゲディミナス・グリニアス選手

▶ デサント、イノヴェイト双方の成長に相乗効果をもたらすために

今回の子会社化により、両社の強みを最大限に活用することで、まずは「イノヴェイト」の売上を大きく伸ばしたいと考えています。

また、独自性にあふれる商品づくりを行うイノヴェイト社の開発力をデサントの他のブランド事業に活かすことを目指します。単に「イノヴェイト」のグローバルな事業拡大にとどまらず、当社の最重要課題のひとつであるシューズ事業全体の拡大を進めてまいります。

さらに、シューズ事業のみならず、企業としての相乗効果を目指すために、両社からメンバーを選定したプロジェクトチームを立ち上げました。プロジェクトでは、互いの資源、物流環境などのリソースを効果的に共同使用する方法や人材交流を画策するなど、シナジーを高める方法を探ります。立案、決定された施策は、当社の次期からの新中期経営計画の中にも落とし込み、実行していく予定です。今後のイノヴェイトとデサントの発展にご期待ください。

イノヴェイトグループ
トップよりご挨拶



イノヴェイトCEO
ゴードン・ベアード



「このたび、私たちイノヴェイトは、デサントグループの一員になったことを非常に嬉しく思っています。デサントとイノヴェイトは、アスリート目線で商品開発に情熱を注ぐという企業のフィロソフィーが似ていると感じています。同じフィロソフィーを持つ両社がグループとなったことで、より魅力的な商品を、よりグローバルに展開していけるでしょう。デサントグループの一員として共に成長していきたいと思いを。」

TOPICS

「マンシングウェアレディース東海クラシック」でウェア着用契約プロが優勝！ 当社契約の女子プロゴルファーが今シーズンも活躍

9月18日～20日に、当社と東海テレビ放送株式会社とで共同主催した「マンシングウェアレディース東海クラシック」において、『ルッコクスポルティフ』契約のキム・ハヌルプロが優勝。ホステスプロとして嬉しい活躍をみせてくれました。

他にも『ルッコクスポルティフ』契約のイボミプロが、10月29日現在で5勝を挙げ、年間獲得賞金を1億8,928万円に伸ばし史上最高額を更新するなど注目を集めています。また、今シーズンから『デサント』契約の渡邊彩香プロも4月に開催された「ヤマハレディースオープン葛城」で優勝。賞金ランキングも6位につけ、活躍をみせています。これらのプロの活躍でブランドロゴの露出によるブランド認知度向上が図れたとともに、これからもトッププロに選ばれるブランド、ウェアであるよう努力してまいります。



『ルッコクスポルティフ』契約
イボミ プロ



『ルッコクスポルティフ』契約
キム・ハヌル プロ



『デサント』契約
渡邊彩香 プロ

TOPICS

キッズからシニアまでユーザーの目線で 使いやすさを考えたアイテムの提案

当社は、結果を求めるアスリートへの機能性を持った商品の開発だけでなく、スポーツに親しむさまざまなシーン、ユーザーに向けた商品も展開しています。

例えば、キッズ向けの商品では、着脱や取扱いがしやすい、汚れても手入れが楽、長持ちする、といった子供やその保護者からのニーズを取り入れた『アリーナ』のゴーグルや『アンブロ』のウォッシュャブルハーフコートなどを提案しました。これらの商品は「第9回キッズデザイン賞」を受賞しています。また、『アリーナ』では着用のしやすさを考慮したセパレート水着を発売。大きさや色を工夫することで、視認性と扱いやすさを向上させたスナップボタンや差し込みしやすいファスナーの採用などで、シニア層や水着を着慣れていない初心者にも、水中で体を動かす楽しさを提案しています。



「キッズデザイン賞」を受賞した「アンブロ」のウォッシュャブルハーフコート。



着用のしやすさを考慮した「アリーナ」のセパレート水着

TOPICS

ウェアに伝う水の流れをナビゲートする 「ウォータースライダー レインウェア」発売

『ルッコクスポルティフ』より、雨の日のゴルフで気になるウェアを伝い落ちる水滴の流れをナビゲートするレインウェア・キャップを発売しました。当社開発の特殊なテープ「ウォータースライダー」を効果的に配置することで水滴の流れる方向をナビゲート。クラブを構えた際に気になる、キャップのつばや袖口から手元にしたたる水滴を軽減する、雨の日のゴルフシーンに心強いアイテムです。



特殊テープ「ウォータースライダー」(つば、袖口のグレー部分)が水滴の流れをナビゲート



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2015年9月30日)
資産の部		
流動資産	68,212	69,331
固定資産	27,184	33,661
有形固定資産	16,094	16,105
無形固定資産	2,488	8,432
投資その他の資産	8,602	9,123
資産合計	95,396	102,992
負債の部		
流動負債	24,234	28,561
固定負債	5,883	6,265
負債合計	30,118	34,827
純資産の部		
株式資本	58,596	61,187
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	30,238	32,829
自己株式	△672	△672
その他の包括利益累計額	6,682	6,977
その他有価証券評価差額金	900	794
繰延ヘッジ損益	△22	48
為替換算調整勘定	5,568	5,880
退職給付に係る調整累計額	235	253
純資産合計	65,278	68,165
負債純資産合計	95,396	102,992

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結 累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結 累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)
売上高	57,134	64,940
売上原価	25,471	27,665
売上総利益	31,663	37,274
返品調整引当金繰入額	560	15
差引売上総利益	31,103	37,259
販売費及び一般管理費	27,432	32,176
営業利益	3,670	5,083
営業外収益	322	474
営業外費用	81	297
経常利益	3,912	5,261
税金等調整前四半期純利益	3,912	5,261
法人税、住民税及び事業税	1,267	1,483
法人税等調整額	△130	56
四半期純利益	2,775	3,721
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,775	3,721

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期連結 累計期間 (自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結 累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,427	4,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,219	△3,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	△795	484
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	4
現金及び現金同等物の増減額	2,381	668
現金及び現金同等物の期首残高	16,266	22,070
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,647	22,739

デサントグループは、『デサント』をはじめ16のブランドを展開し、高品質と高機能を追求したスポーツ用品を企画・製造・販売しています。一般の方からトップアスリートまで、世界中の人々にスポーツを楽しんでいただけるよう、各ブランドで独自のマーケティングを実施し、ブランド価値のさらなる向上に挑戦中です。

企業理念

すべての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを

スポーツ本来の「体を動かす楽しさ」、「競い合う楽しさ」を提供することで一人一人のいきいきとしたライフスタイルの創造に貢献します。

企業スローガン

Design for Sports

コーポレートシンボルマークの由来

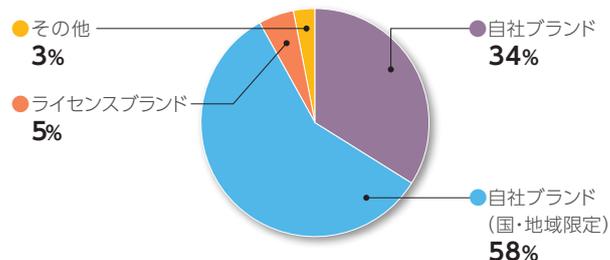


DESCENTEとは、フランス語で「滑降」の意味。スピリットマークは、スキーマの基本技術である直滑降、斜滑降、横滑りを表現しています。つねに最もすぐれたものに目を向け、時代の要求を先取りし、積極的に製品化していく果敢なデサントスピリットのシンボルです。

ブランド一覧

(2015年9月30日現在)

【ブランド種類別売上高構成比】



自社ブランド(テリトリー：全世界)

デサントグループが商標権を保有するブランドです



自社ブランド(テリトリー：国・地域限定)

デサントグループが国・地域限定で商標権を保有するブランドです



ライセンスブランド

デサントがライセンス契約にもとづき展開しているブランドです



会社概要

株式会社デサント

設立	1958年(昭和33年)2月
代表取締役社長	石本 雅敏
資本金	38億4,620万円
年商	1,231億円(連結、2015年3月期)
従業員数	1,983名(連結) 859名(単体) (2015年9月30日現在)
業種	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの製造および販売
大阪オフィス	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-3 〒543-8921 TEL. (06)6774-0365 (人事・総務室) FAX. (06)6774-0367 (人事・総務室)
東京オフィス	東京都豊島区目白1-4-8 〒171-8580 TEL. (03)5979-6006 (東京総務・管理室) FAX. (03)5979-6107 (東京総務・管理室)

役員	取締役会長： 栗山 信雄	取締役： 中分 孝一
	代表取締役社長： 石本 雅敏	取締役： 金 勳道
	専務取締役： 田中 嘉一	社外取締役： 井伊 雅子 [※]
	常務取締役： 三井 久	常勤監査役： 石本 和之
	取締役： 羽田 仁	社外監査役： 八杉 昌利 [※]
	取締役： 辻本 謙一	社外監査役： 檜垣 誠次 [※]

※株式会社東京証券取引所の定めに基く独立役員です。

グループ会社

連結子会社

デサントアパレル株式会社 (大阪市)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの製造
ベンゼナラル株式会社 (東大阪市)	スポーツ用品の卸売販売
デサントノースアメリカ INC. (カナダ バンクーバー)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの販売
北京迪桑特有限公司 (中国 北京)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの製造
デサントコリア株式会社 (韓国 ソウル)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの製造および販売
デサントグローバルリテール株式会社 (韓国 ソウル)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの販売
上海迪桑特商業有限公司 (中国 上海)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの販売

大株主および持株数

株主名	持株数
伊藤忠商事株式会社	19,235
日本生命保険相互会社	3,238
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,118
株式会社三井住友銀行	2,110
帝人フロンティア株式会社	2,034

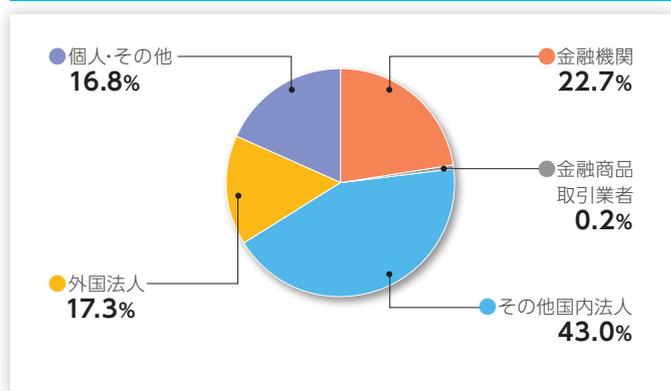
株式数および株主数

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式の総数	76,924,176株(自己株式1,586,650株含む)
株主数	4,129名

株式分布状況

(2015年9月30日現在)



香港迪桑特貿易有限公司 (中国 香港)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの販売
シンガポールデサント株式会社 (シンガポール)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの販売
株式会社ディーケーロジスティクス (韓国 安城)	デサントコリアの物流業務
インヴェイト株式会社 (英国 ステイプリー)	シューズ、ウエア、エキップメントの製造および販売
インヴェイトINC. (米国 ボストン)	シューズ、ウエア、エキップメントの販売

持分法適用関連会社

寧波ルコック服飾有限公司 (中国 寧波)	スポーツウエアおよびこれらに関連するものの製造および販売
----------------------	------------------------------

(2015年9月30日現在/千株)

株主名	持株数
石本和之	1,757
公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団	1,652
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,641
東洋紡STC株式会社	1,594
株式会社デサント	1,586

株主メモ

(2015年9月30日現在)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日です。
定時株主総会開催時期	毎年6月
公告の方法	電子公告により行います。 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は日本経済新聞に公告致します。) 電子公告URL http://www.descente.co.jp/
単元株式数	100株 2015年2月に1,000株より変更いたしました。
証券コード	8114
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777(通話料無料)

株式手続に関するお問い合わせ先

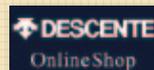
ご住所、ご氏名の変更、配当金受取方法の変更等の各種手続
口座開設先の証券会社までお問い合わせください。

特別口座※で株式を管理されている株主様の手続
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 まで
お問い合わせください。

0120-094-777(通話料無料)

※株券電子化前に証券保管振替機構をご利用されなかった株主様の株式については、特別口座で管理されております。特別口座で管理されている株式を売却するには、あらかじめ証券会社に株主の皆様の取引口座を開設し、株式の残高をお振替いただく必要があります。

株主優待制度のご案内



株主優待制度

×

デサント
オンラインショップでの
20%OFF
取扱商品を20%割引

=

送料無料



当社は、株主様の日頃のご支援に感謝申し上げるため、株主様ご優待制度を設けております。当社が運営する「デサントオンラインショップ/DESCENTE Online Shop」のご利用を通じて、当社製品をご愛顧いただき、また、当社の事業に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

株主優待制度の概要

◆対象となる株主様

毎年、3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載された当社株式100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象といたします。

◆優待の内容

デサントオンラインショップでの取扱商品を指定期間内に期間中6回まで、20%割引でご購入いただけます。1回のご購入金額は30万円までとさせていただきます。詳しくは当冊子同封の「株主優待制度のご案内」をご覧ください。

◆デサントオンラインショップ

『デサント』をはじめ当社が取り扱う多数のブランドの製品を展開しています。ゴルフやランニング、サイクリング、アウトドアなど、いろいろなスポーツシーンに合わせたお薦めアイテムを揃えています。 <http://www.descente-onlineshop.jp/>

<http://www.descente.co.jp/>



表紙写真：瀬戸大也選手(JSS毛呂山/早稲田大学)
世界水泳選手権400m個人メドレーにおいて日本人初の大会2連覇を達成
当社は瀬戸大也選手と今年4月にアドバイザー契約を締結。「アリーナ」ブランドの競泳水着をはじめとするスポーツウェアのサプライ等を通じて瀬戸選手をサポートするとともに、同選手を起用した宣伝活動で「アリーナ」ブランドの一層の認知度向上を図ってまいります。

